

■服部金太郎 実業家。時計国産化の先駆者。{服部時計店}を設立、飛躍を重ねて、"東洋の時計王"と呼ばれるに至った。
はっとりきんたろう
桜田門外変・1860＝ 江戸京橋采女町で、古物商服部喜三郎の長男に生まれる。母ははる子。

明治維新・・1868＝ 8歳：
戊辰戦争終・1869＝ 9歳：

学問のすすめ1872＝12歳： 京橋の洋品雑貨問屋に丁稚奉公，
明治6年政変 1873＝13歳：
佐賀の乱・・1874＝14歳： 近所の有名時計店を見て、時計商になろうと、日本橋の時計店に奉公，

三つの内乱・1876＝16歳： 店主の紹介で、下谷の時計店の徒弟となり、修理技術を習得するが、
西南戦争・・1877＝17歳： 店主が他の事業に失敗して倒産したため、自宅に戻って、{服部時計修繕所}の看板を挙げ、
大久保暗殺・1878＝18歳： 近所の時計店に技術者として通動しながら経営，

明治14年政変1881＝21歳： 東京市京橋区采女町の自宅近くに、*{服部時計店}を開業。

岩倉具視没・1883＝23歳： 火災で類焼したため、銀座通り近くに再興し、
秩父事件・・1884＝24歳： 早くも、「東京高名時計商繁昌鏡」に登場。
内閣発足・・1885＝25歳： 横浜居留地の外国商館と取引を始め、洋(輸入)時計の卸・小売に専念し始め、

国民之友始・1887＝27歳： 銀座四丁目に進出，

帝国憲法発布1889＝29歳：

大本教・・・1892＝32歳： 本所区(墨田区)石原町に*{精工舎}を開設、掛時計の製造を始め、
郡司千島探検1893＝33歳： 柳島町(墨田区太平4丁目)に移転，
日清戦争始・1894＝34歳： 伊藤為吉の設計で、本店を増改築し、屋上に時計台を設置、以後、銀座のシンボルとなる。
日清戦争終・1895＝35歳： 中国への輸出を開始。懐中時計"タイムキーパー"の製造を始める。
白馬会・・・1896＝36歳：
八幡製鉄始・1897＝37歳： 米ウォルサム社と直輸入契約を結ぶとともに，
子規句歌革新1898＝38歳：
Bushidou・・1899＝39歳： 目覚時計の製造を開始。単身で欧米時計工場の視察に出かけ、新式機械を購入，
ピノ/国産化・1900＝40歳： 帰国して、設備一新，
田中正造直訴1901＝41歳： 日本の時計営業の最大規模となり，
教科書疑獄・1902＝42歳： 置時計の製造も始める。高級懐中時計"エキセレント"を完成させるなどして，

舶来品を駆逐し、市場を独占するに至る。
日露戦争終・1905＝45歳： 上海・香港に販売代理店を開設，
満鉄発足・・1906＝46歳： 再び、欧米視察旅行して、設備一新。
韓国反日暴動1907＝47歳： "エキセレント"が帝国大学などの恩賜の時計に指定されるようになり，

伊藤博文暗殺1909＝49歳： 高級懐中時計"エンバイヤ"を完成し発売。ピニオン自動旋盤機を自社開発し、生産性を飛躍的に高め，
韓国併合・・1910＝50歳： 高級掛時計として座敷時計の製造開始。

明治天皇没・1912＝52歳：
大正政変・・1913＝53歳： 上海に出張所を開設。国産初の腕時計"ローレル"を発売，
第一次大戦始1914＝54歳： *第一次大戦が始まってドイツ製品が姿を消すや、それに代わって、世界市場に飛躍，
21ヶ条要求・1915＝55歳： 母が死去。従五位に叙せらる。香港にも出張所を設け，

ロシア革命・1917＝57歳： 輸出部門を服部貿易株式会社として独立させたのち、株式会社服部時計店を設立して社長となり、"東洋の時計王"と呼ばれるようになる。

原敬首相暗殺1921＝61歳：

関東大震災・1923＝63歳： 本店の建替工事中に震災に遭遇、始めからの設計見直しを行い，
護憲三派圧勝1924＝64歳： "SEIKO"の商標を使用し始め，

金融恐慌・・1927＝67歳： 貴族院議員に勅選され，

世界恐慌・・1929＝69歳： 改めて、本店建替工事に着工，
海軍軍縮条約1930＝70歳： 学術奨励し、公益事業援助すべく、財団法人{服部報公会}を設立，
満州事変・・1931＝71歳：
五一五事件・1932＝72歳： 新服部時計店が落成、天然石造りとなり、屋上の時計台は引続き銀座名物となるなか，

帝人疑獄事件1934＝74歳： 没した。